

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	社会体育課(社会体育担当)			
事務事業名	みらいのアスリート応援事業	事業番号	12334	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
		☒ 自治 ☐ 法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8 スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	全道大会以上の大会に参加する市内の小学校、中学校及び高等学校に在学する児童及び生徒並びにその引率者
	対象者の今後の予想	横ばい
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	スポーツの分野において、日本国内並びに世界で活躍するみらいのアスリートを目指し、更なるレベル向上のため全道大会以上の大会に参加する市内の小学校、中学校及び高等学校に在学する児童及び生徒に対して市が支援を行い、遠征費の負担軽減、児童・生徒の意識の高揚、地域で応援する機運の醸成を図る。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	子育て世帯の保護者負担の緩和	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	みらいのアスリート補助交付団体数(年間)	25件	31件	28件	31件			35件	35件
2	みらいのアスリート補助交付人数(年間)	180人	215人	227人	199人			250人	250人
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			H29予算		H29決算		H30予算		
			4,000		3,412		5,000		
内訳	国庫支出金								
	地方債								
	その他				4,000		3,412		5,000
	一般財源								
人員(人工)					0.25		0.25		0.25
職員人件費(=人員(人工)× 7,696 千円)					1,924		1,924		1,924
総事業費(=事業費+職員人件費)					5,924		5,336		6,924
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					191		172		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					29		26		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	平成26年度にバス料金が値上げされたことにより、平成27年度から貸切バスの利用についても補助基準を設け、宿泊費については、1人1泊当たり5,000円を基準の上限としていたものを1,000円増額し6,000円とし、さらに補助率を1/2から2/3に拡充した。 平成28年度には少数での交通手段としてジャンボタクシーの利用についても補助基準を設けた。 平成30年度から補助金ろ助成金に変更、対象基準に自家用車等を追加、対象大会の拡大、対象者要件の代表権を撤廃、実施事業に講演会・講習会等の開催・体験機会の提供を追加した。
今後の動向・市民ニーズなど	全道・全国大会に同一年度で複数回参加する個人・団体もあり、保護者負担が大きいいため、市からの支援を望む市民要望は、今後も続くと思われる。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	本事業は、確実に保護者の負担軽減につながり、子供たちのスポーツ振興につながるとともに、スポーツ活動の継続性も期待できる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 少年期のスポーツ振興、子供の体力向上に向けた取り組みとして保護者負担の軽減は、市が行う必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 全道・全国・国際大会に複数回出場する児童・生徒がいることから、助成金の交付を現在の年1回から複数回に拡充することで、一層の保護者負担の軽減を図ることができる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	社会体育課(社会体育担当)			
事務事業名	根室市総合体育館建設基金積立金	事業番号	12640	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8 スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	スポーツ活動における幅広い市民・団体
	対象者の今後の予想	横ばい
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	総合体育館の建設に向け基金を創設し、建設に関わる将来負担へ備えるとともに、建設実現に向けた市民機運の醸成を図る。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	総合体育館建設により、スポーツ振興の拠点が整備され、スポーツ活動における、より幅広い市民ニーズに応えることができる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	根室市総合体育館建設基金積立金	-	100,000千円	101,000千円	100,471千円			500,000千円	1,000,000千円
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				H29予算		H29決算		H30予算	
				100,471		100,471			
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他			100,471		100,471			
	一般財源								
人員(人工)									
職員人件費(=人員(人工)× 7,696 千円)									
総事業費(=事業費+職員人件費)					100,471		100,471		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					1		1		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	現在、総合体育館の役割を担っている青少年センター(青年の家に該当する施設)は昭和45年に建設され老朽が著しく、新総合体育館の建設は必要であり、その準備のための基金を積み立てる必要がある。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない スポーツの拠点となる総合体育館建設に伴い、スポーツを通しての健康志向の高まりや競技水準の向上など、多様化する市民ニーズに応えることが期待される。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 「市民一人1スポーツ」を推進するためには総合体育館が必要であり、総合体育館建設には多額の一般財源が必要であることから、その建設準備のための基金を積み立てる必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 市民要望の高い総合体育館に要する経費の財源の確保並びに市民の機運の醸成を図る。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 利用する補助制度が確定していないため、財政措置を検討して参りたい。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 総合体育館は市民誰もが利用できる施設である。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 建設準備のための基金を積み立てることで、急激な財政負担を緩和させる。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	社会体育課(社会体育担当)			
事務事業名	最東端ねむろシーサイドマラソン事業	事業番号	12686	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8 スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民・全国から訪れるマラソン愛好者
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市民の健康の保持・増進や体力の向上、心身の健全な発達を推進するとともに、全国から訪れるマラソン愛好者と交流し、根室の魅力を発信し、北方領土返還への世論喚起を醸成するなど、交流人口の増大と市中経済の活性化に寄与する。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	市民健康マラソン大会を充実・発展させた「最東端ねむろシーサイドマラソン」を継続開催することにより、目標参加者を1,250人とする。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	最東端ねむろシーサイドマラソン参加者数				956人			1,000人	1,250人
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			H29予算		H29決算		H30予算		
			7,320		7,149		9,629		
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他		7,320		7,149		4		
	一般財源						9,625		
人員(人工)			1.00		1.00		1.00		
職員人件費(=人員(人工)× 7,696 千円)			7,696		7,696		7,696		
総事業費(=事業費+職員人件費)			15,016		14,845		17,325		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			15		15				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	第1回最東端ねむろシーサイドマラソンのコースは、オホーツク海を望む根室半島線を折り返したが、交通規制によりコース沿道での声援が少なかったため、第2回最東端ねむろシーサイドマラソンのコースは、太平洋とオホーツク海を望むと共に、市内住宅地も走るコース設定としたことにより、多くの市民から声援を受けて疾走できるようになった。
今後の動向・市民ニーズなど	大会開催日の8月第3日曜日は、時節柄、漁業(コンブ漁等)の最盛期や、夏観光シーズンの繁忙期であるため、道路交通規制による多くの市民や来根者の方へご迷惑をお掛けするため、最小限の道路交通規制とする必要がある。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	第1回最東端ねむろシーサイドマラソンの申込者は1,039人を数え、開催当日の参加者は956人となった。過去に35回開催されたノサップ岬マラソンの申込者の最高が785人だったことを考慮すると、第1回マラソン大会は上々の滑り出しである。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 市が事業の主催者を担い、実行委員会が主管するシステムが、現在の当市としてベストである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 完走賞の花咲カニは、根室の魅力である水産特産品の一つであるため、今後も継続したい。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☒ 拡充 ☒ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月